

港湾經濟研究

日本港湾經濟学会年報

NO. 3

1965

日本港湾經濟学会編

序

想うに、わが国の港湾問題は、いよいよ経済・社会面からの研究を行なわなければ、その本格的な解決が計れない段階に当面してきている。ここに日本港湾経済学会会員諸兄の真摯な研究成果を1965年度の年報にして世に贈ることができるのはよろこばしいかぎりである。

これらの諸論文は、第1部として共通論題（港湾経営の諸問題）、第2部として自由論題をとりあげたが、いずれも第3回研究報告会での発表であり、また現下のわが国港湾の切実なる問題でもある。それらが各問題にとって貴重な貢献をするものであると信ずる。

本年報「港湾経済研究」も3号をむかえ、また、本年は「地域開発と港湾」なるテーマのもとに大会が開かれ、会員の増加とあいまって、その研究の歩調もますます高まりつつあることは心強き次第でもある。本学会と、この研究誌が、わが国港湾の発展と共にいつまでも盛んなることをこの機に改めて祈りたい。

最後に正会員諸兄、ならびに賛助会員の各位には本学会の諸活動の遂行に際し多大の御協力と御援助を賜っていることを念じ、厚く感謝の意を表すると共に尚今後の御尽力をも願う次第である。

昭和40年秋

日本港湾経済学会会長 矢 野 剛

目 次

序	矢野 剛
---	------

研 究

共通論題（経済発展と港湾経営）

港湾のもたらす経済的利益の分析	柴田 銀次郎（ 1 ）
-----------------	-------------

港湾経営の「理念」と問題性	北見 俊郎（ 12 ）
---------------	-------------

自由論題

港湾機能の地域的問題点	今野 修平（ 25 ）
-------------	-------------

国際収支における港湾経費改善のための 理論的考察	中西 睦（ 37 ）
-----------------------------	------------

港湾資産評価とその問題点	杉沢 新一（ 69 ）
--------------	-------------

文 献 紹 介

矢野剛著

「港湾経済の研究」	寺谷 武明（ 84 ）
-----------	-------------

海運系新論集刊行会編

「海運と港湾の新しい発展のために」	織田 政夫（ 90 ）
-------------------	-------------

向井梅次著

「港湾の管理開発」	喜多村 昌次郎（ 96 ）
-----------	---------------

喜多村昌次郎著

「港湾労働の構造と変動」	徳田 欣次（ 103 ）
--------------	--------------

宮崎茂一著

「港湾計画」	川崎 芳一（ 113 ）
--------	--------------

P. C. Omtvedt;

Report on The Profitability of Port Investments

.....中西 睦 (117)

J. Bird;

The Major Seaports of The United Kingdom

.....北見 俊郎 (121)

学 会 記 録

日本港湾経済学会会則・役員..... (131)

学 会 記 事..... (138)

会員業績リスト..... (145)

会 員 名 簿..... (151)

編 集 後 記..... (164)

会 冊 続 文